

English Wind

小学校全教職員及び

中学校英語科担当教員配布

英語教育の



1 英語担当教員エンパワーメント研修（授業力向上研修）振り返り

令和6年度から3年間をかけて、県内各校の英語担当の先生（代表1名）に取り組んでいただく本研修ですが、今年度については、先月をもって終了いたしました。今年度は小学校124名、中学校68名を対象とした年3回の研修を行い、研修者自身が自ら課題を設定し、単元計画の作成や実践及び定期的な記録の提出等を通して、授業力向上に努めていただきました。

研修者の中には、日常的に授業を担当している先生方ばかりではなく、小学校において普段は外国語の授業を担当していない先生や低学年を担当している先生など、さまざまな立場の方に御参加いただきました。

今回は、次年度以降の対象となる先生方への情報提供も兼ね、参加された先生方の振り返りを紹介させていただきます。

【研修内容】

英語担当教員エンパワーメント研修

- ・自身の課題を設定し、年間を通じて主体的・対話的・協働的な研修を実施し、指導力・英語力向上を目指す。
- ・言語活動や単元計画の作成等についての研修や実践を通して、指導力向上を図る。

スタートアップ講座

- ・自身の課題把握
- ・授業改善のポイント
- ・研修計画書の提出

ブラッシュアップ講座

- ・授業実践シート提出
- ・グループ協議
- ・授業実践計画の改善

ラップアップ講座

- ・実践事例共有
- ・相互ふり返し
- ・研修報告書の提出



【研修用シート】研修計画・報告書

研修計画・報告書

提出済み

令和6年度 英語担当教員エンパワーメント研修（授業力向上研修）
研究計画書・報告書

所属校 福島義務教育学校 研修者名 福島英一郎

1 研究テーマ
※取り組みたい課題や児童生徒に育みたい資質・能力など
児童が楽しんで自分の考えや思いを伝え合う

2 設定理由
※自身の指導している児童生徒の姿、または国・県などの
言語材料を教えたり練習させたりしてしまっ
た活動を生かし、かつ児童が楽しみながら活

3 主な取組
課題研究、解決のための方法や手立てなど
児童の振り返りをもとに、楽しかった活動や
言語活動中に児童の発話を評価し、苦手意識

4 年間計画

月	取組	状況	対応
6	振り返りを毎時間実施する。	ペアでのペアでの活動に興味関心をもっている児童が多いが、英語で対話をするのに恥ずかしさや抵抗がある児童がいた。	人間関係に配慮したペアをつくり、活動も簡単なものをはじめに行い、話しやすい雰囲気を作った。
7	振り返りを元にしたペア活動の設定。活動しやすいペアを模索する。		

研修で使用した計画・報告書
年間を通し、毎月の取組と振り返りを記録しながら、自身の実践を評価し、授業改善を行いました。

ご提出ありがとうございます。
7月分のご記入を確認しました。ありがとうございます。
5分程度子どもに預け、周りに関わり合いながら、自分なりに練習できる時間を確保するのはいいかでしょう。先生方が、悩んでいる子どもをサポートする時間が生まれると思います。
4回目の提出をさせていただきます。外国語の授業がより楽しくなってきました。ご確認よろしくお願いいたします。
外国語の授業がより楽しくなってきたとのこと、すばらしいです！児童にも「相手に伝えたい」という意欲が見られているとのこと、すばらしいですね。引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。

Google クラウド

提出はGoogleクラウド上で行われ、左図のように、研修者の先生が授業についての指導上の課題や悩みなどについて記入し、指導主事がアドバイス等を回答させていただきました。また、授業で取り組んだことが成果として表れた喜びのコメントなども見られました。

【報告書の振り返りより】

- 本研修を通して、目指すべき生徒の姿や単元を通した計画を作成することにより、やるべきことを考えながら日々の実践に取り組むことができた。特に、パフォーマンステストを位置付けたことにより、生徒の実態に応じて必要な取組を考え実践できたことがよかったと感じている。(中学校)
- 昨年度まで、長く外国語教育推進リーダーに頼って授業を受け持っていたため、久し振りに行う授業で、戸惑いながらの1年だった。まだまだ苦手意識があり、英語での指示等に自信が持てないので、今後の課題として勉強していこうと考えている。(小学校)
- 自分自身あまり英語が得意ではなかったのですが、自分の授業を見直すよい機会になりました。自分で課題を設定し、それに基づいて実践、振り返りをきて、多くのことを学ぶことができました。また、研修に参加して、ほかの先生方と交流することで、助言をいただいたり、悩みを共有したりすることができたこともよかったです。今回の「ラップアップ講座」では初めて他地区の先生方と話をすることができて、それもまたよい刺激を受けました。ICTを活用している先生方が多かったので、自分も今後取り入れてみたいと思いました。低学年が使える教材があることや、低学年でも外国語を学習する時間が確保されていたり、それぞれの地区によって取り組みに大きな差があったりすることにも驚きました。この1年間で学んだことを、ぜひ今後の外国語活動の学習に生かしていきたいと思います。課題の提出など、正直負担に感じることもありましたが、提出のたびにいただく温かいコメントや、研修での的確なアドバイスが、とても心強く、励みにもなりました。1年間ありがとうございました。(小学校)
- 単元計画やCAN-DOリストの作成は、単元を見通した指導を行う上で大切だと感じた。特にCAN-DOリストは、生徒とも単元や本時の目標を共有できるので、今後も単元毎に作成していきたい。ブラッシュアップ研修や限定公開のコメントで指導主事にいただいた多くのアドバイスも非常に参考になった。普段の授業に生かせる部分が多くあった。(中学校)
- 英語を何度も聞いたり話したりする活動を通して、言語活動では子どもたちが伝えたいことを考えて話すようになってきた。伝えたいことが伝えられるとより意欲的に活動に参加する姿が見られた。しかし、最初は定型文を何度も読み、練習してから言語活動という形が多かった。まずは子どもたちに活動させてみて、上手いかなかったことやできるようにしたいことを明確にしたうえで、発音練習を行う等、子どもにとって必要感がもてる授業の進め方をしていきたいと思う。また、ラップアップ講座で最後に視聴した授業動画を見て、子どもが1時間の中でできるようになったことや成長したことに気付けるような授業展開を試みたいと考えようになった。教材研究を通して実現できるよう努力していきたい。(小学校)

2

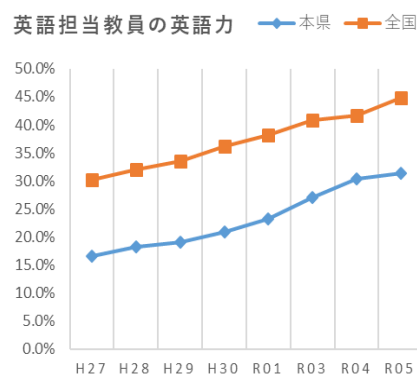
スキルアップ～英語力の向上を目指して～

3

国際理解教育情報

先生方には、授業力とともに、自身の英語力向上にも努めていただき、CEFR B2 レベルを有する割合が年々上昇しています。

英語学習において「シャドーイング」という言葉を見聞きした先生方も多いのではないのでしょうか。教材研究の一環として教科書本文を使ったり、英語試験対策教材や自分の関心のあるニュースや本を使ったりと工夫次第で楽しく学習できます。時には「シャドーイング」を録音して自分の発音をチェックすることもできます。これらは自身の英語力向上だけでなく、授業での指導スキル向上にもつながるのではないのでしょうか。



福島県生活環境部国際課では国際理解のための出前講座を行っています。

「世界を知る第一歩を踏み出そう!!!」
【随時申込受付中】

ふくしま
グローバル人材
育成事業
～国際理解出前講座～

